

報 告 書

(道 下 班)

開 催 日 時	平成 28 年 10 月 25 日 19 : 00 ~ 20 : 35	
開 催 場 所	和田公民館	
出 席 議 員	司会者	道下文男
	報告者	田畑敬二
	記録者	柳楽真智子・芦谷英夫
		原田義則・串崎利行 議長団：平石誠副議長
参 加 人 数	27 人	
主な要望・提言等	テーマ：地域の活性化について サブテーマ①産直市の活用について ②公民館の活用について ①産直市の活用について 【生産者】 ○高齢化で後継者がいない、後継者づくりが急がれる、若い農業者が少ない、産直市の店番ができない、先細りである。 ○少しでも利益にならないと意欲も出ない、生産者の所得向上を。 ○人に食べてもらう楽しさを感じる。 ○異常気象になり例年通りできない、病気が出やすい、面積が少なく連作になりやすい。 ○土づくりが大切である。 ○新しい作物の生産できるよう、技術指導、アドバイスをしてもらえる、場所、窓口、指導者がほしい。小単位での営農指導を。 ○生産者の高齢化のため、和田の桃の続けるためボランティアが必要である。 ○和田の土地にあった野菜づくりをしてはどうか。 ○自分の生産物に自信がない。 ○生産者の仲間づくりの強化。 ○時季によって端境期がある、何か加工品、漬物、ジャムなどを出荷したいが、法的制約があり難しい。	

- 出品時期の調整が必要、旬の時期に偏る、旬へのこだわりが必要。
- 鳥獣被害があり農作物を守る対策、耕作放棄地対策、農地の有効活用を。
- 作物を作ることと、農地を美しく保ちたい。
- 過剰生産にならないように栽培作物の選定、品質の規格の統一。
- 端境期には野菜がないためハウスの利用を。
- 出荷しやすい環境づくり。
- 出荷予定を掲示するシステムを育てたいが、野菜類は難しい。

【新たな取り組み】

- 作ったものを出荷するだけでなく、消費者との双方向により食べたいものを探るため要望箱を設ける、生産者と消費者の顔の見える関係をつくる。
- 組合的な組織により、産直通販も有効な手段ではないか、産直会員ネットワークづくり。
- 生産者、客も高齢者が多い、若者へのアピール方法はないか。
- 産直シールの効果はあり固定客が増えている。
- ホームページを設けているが産直市へのアクセスが少ない、QRコードからのアクセスも少ない。
- 毎年、新品種にトライしてみたい
- 価格や包装などの指導体制を。

【消費者の立場】

- 安く新鮮で地産地消を。
- 産直市にはいつもたくさんの産品が並んでいてほしい。
- 理由（わけ）あり品の袋売りも面白い。
- 陳列の工夫などカネにする方法を。
- 全体的に品不足がある。

【その他】

- 7～8年前一橋大学の関教授は、産直市は一兆円産業である、と言っていた。

②公民館の活用について

- 公民館周辺の草刈りなど、維持管理が年々難しくなっ

きている。

- 交付金がないと活性化ができない。
- 自治会中心でまとまっていたが、公民館ができてしっくりいかなかった面もある。
- 公民館・まちづくり・自治会の役割を明確にする必要がある。
- 公民館はつなぎ役で、実際に動くのは地域だと思う。
- 自治会・まちづくり・公民館の役員を同じような人が担っていて、区別ができない状態である。
- 地域が広く公民館ですべての取組みとはならないが、自主防災の取組みは一本化すべきである。
- 和田地区の人が集まり易い行事を行うことも必要。
- 旭自治区内の5公民館連携事業が、更に発展すればいいと思う。
- 各公民館のサークルを紹介し合い、どこの公民館でも利用し易くする。
- 高齢者や独居の婦人にあまり参加してもらえない。
- 各年齢層ごとにしたいことを考えて活動する。
- 公民館は、コミュニケーションの場、地域活動における提案の場、活動の場所だと思う。
- 小学校が無くなり、子供たちを中心にした十分にできない。
- 趣味や得意なことが活かせるような集いの場。
- 利用者の固定化を改善するような、取組みの展開が必要だと思う。
- 小さい単位の集いを集約する機能。
- 行事ばかりふえている。何のために何をしていくかを明確にして取組むことが大事。
- 公民館への交通の便が悪く、行事に参加しにくい。
- 人それぞれの得意分野を活かした助け合い（互助）の取りまとめが必要。
- 地域リーダーの育成が急務であり、役職や仕事量に見合うだけの報酬を支払うべきだと思う。
- 公民館本来の仕事以外に、まちづくり事業が入ってきたので、公民館は大変になってきている。一律に仕事を割り振りされても困る。

	○ 若い人の出番を作る。
--	--------------

浜田市議会議長 西田 清久 様

平成 28 年 11 月 7 日

浜田市議会報告会規程第 9 条第 1 項の規定により提出します。

道下 班
代表者 道下 文男